

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 不破高等学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和7年6月10日(火) 10:00～12:00
- 3 開催場所 不破高等学校ガイダンス室
- 4 参加者

会 長 副 会 長 委 員	竹内 治彦 和田 満 渡邊 勝敏 長井 円覚 岡野 道代 広瀬 隆博 太田 佳祐 浅野 宏 乾 豊 山川 直美	岐阜協立大学教授 垂井町教育委員会教育長 関ヶ原町教育委員会教育長 不破中学校校長 (欠席) 地域住民(宮代こども園園長) 垂井町議会議長 地域住民(垂井まちラボ) (欠席) NPO法人泉京・垂井 代表理事 本校同窓会会長 本校PTA副会長
---------------------	--	---

学 校 側	浦野 善裕 武藤 純二 北村 直也 伊藤 健一 早野 賢謙 立木 翔	校長 教頭 事務長 教務部長 進路支援部長 生徒支援部長
-------	---	---

5 会議の概要(協議事項)

(1) 授業見学

(2) 教育指導の重点及び学校経営計画について

(3) 不破ウィークについて

意見1: 地域のさまざまな活性化事業に、本校生徒が主体的に参加し活躍している姿が素晴らしい。

意見2: 4月の生徒向けアンケート結果の学年別過ごし方に関する回答に部活とあるが、部活動に加入している生徒は企画等に参加することができないのか。

⇒部活動も企画の一つである。そのため、その他の企画等にも自由に参加することができる。

意見 3 : この取組みが、生徒たちの主体性を育むことを期待している。

(4) 意見交流

意見 1 : 教育指導の重点について、授業見学から実感することができた。また、ICT利用についても発展的な活用が非常によい。今後は、主体的に学習活動に取り組む授業展開を研究してほしい。

意見 2 : 今後も地域と連携した教育を充実させてほしい。

意見 3 : 小学生の頃に関わった生徒が声をかけてくれてとてもうれしかった。どの教室も落ち着いた雰囲気の中で前向きに授業を受けていた。

意見 4 : 幼児と高校生との交流活動を継続している。そのような交流活動を通じて、登園を渋る幼児が来られるようになるなど、幼児の生活に変化が生まれ、とても意義ある活動となっている。

意見 5 : 導入されているタブレット端末は更新されていくのか。また、更新費用についてはどのようになるのか。
⇒県の施策として検討がされている。

意見 6 : 少人数教育は生徒に有効である。やはり、生徒が学校に行きたいとか、楽しい学校だといった雰囲気がとても大切である。

意見 7 : 昨年度よりもホームページの更新回数が増え、学校の様子がわかりやすくなっている。また、学校案内に生徒の思いを掲載するなど、学校の特色がよくわかり魅力的なものになっている。今後の生徒主体の広報活動に期待をしている。

意見 8 : 中学校では授業中の板書をノートに書く写すことが苦手な生徒のために、板書の内容をプリントで事前に配付し、授業に臨むことができるよう支援している。高校でも参考にするとよい。

意見 9 : キャリア教育の内容について、インターシップや企業見学だけではなく、起業家教育の視点での取組みが実践できるとよい。

意見 10 : 学校基本調査も終了しているため、入学定員に対する入学者数の割合や現在の在籍生徒数など、定量的な部分を押さえた資料があるとよい。

意見 11 : この学校の役割は何か、その役割をどのように発揮していくのか、さらにはどのように可視化していくのかを考えていく必要がある。

6 会議のまとめ

第1回学校運営協議会では、全委員より今年度の本校の学校経営計画を踏まえた学校運営基本方針について承認が得られた。今後も、積極的に本校の取組みを公開し、委員から更なる意見等を得たい。